

令和元年度 東部地区学校・家庭・地域連携実践発表会



1 目的

「学校応援団」「放課後子供教室」「埼玉の子ども70万人体験活動（みどりの学校ファームを含む）」の取組の発表を通して、取組推進のあり方を協議し、各事業の充実を図る。

2 期日・会場

令和元年11月27日（水） 蓮田市総合文化会館 ハストピア

3 参加者数

合計 257人

学校・教育委員会：160人 保護者・コーディネーター等：97人

4 実践発表者

- 「学校応援団」について 加須市立加須南小学校
- 「放課後子供教室」について 白岡市教育委員会いきいき教育課・町ぐるみん白岡
- 「埼玉の子ども70万人体験活動」について 三郷市立彦成小学校

5 実践発表

「学校応援団」の取組



加須市立加須南小学校の取組について

<実践の概要>

- 学校応援団のふれあい推進長を中心に、学習支援活動、安全見守り活動、環境整備等を計画的に実施している。今年度から「加須市リンクミーティング」を各中学校区に設置し、幼・保・小・中連携に取り組んでいる。
- 学校応援団の年間計画を随時見直し、児童により効果的な体験活動を実践している。
- 新たな取組から、新しい「人財」を発見するとともに、学校・家庭・地域の人と人とのつながりが深まってきた。
- 学校応援団の構成する方々の高齢化と新たな人財の発見が課題である。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

- 「加須市リンクミーティング」により、中学校区における教職員と地域学校評議員が、学びの連続性を意識した一貫性のある保育、教育活動を推進するため、協議及び情報交換を行っている。
- 「新たな取組から新しい『人財』の発見が生まれた」という成果の報告があったが、引き続き新たな取組にチャレンジして、課題解決につなげていただきたい。

「放課後子供教室」の取組



白岡市教育委員会いきいき教育課
町ぐるみん白岡

の取組について



<実践の概要>

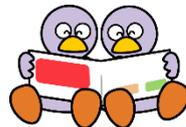
- 「みんなで子育て-白岡アクションプラン-」（平成21年白岡町社会教育委員会提言）を受け、学校・地域・家庭をつなぐ組織として「町ぐるみん白岡」を設立する。学校・家庭・地域連携の接着剤や潤滑油の役割を果たす。
- 市内の雑木林の整備を地域の大人だけでなく、小中学生も一緒に行うことで、子供たちの貴重な体験活動を提供する。
- 学校応援交流会を実施し、事例発表を提供するとともに、グループワークで情報共有することで、地域の子育て活動に関心を持つ人を増やすことができた。
- 関係機関との連携を深めるとともに、活動の積極的な情報発信と、活動内容の充実を図っていくことが課題である。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

- 「町ぐるみん白岡」は地域、学校だけでなく、家庭も含めた主体が、幅広い年代の子供たちのために、包括的な子育てに関する支援を行っている。
- 「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、すべての小学校区で、放課後子供教室と放課後児童クラブとの連携・協力した事業を実施していただきたい。

「埼玉の子ども70万人体験活動」の取組

三郷市立彦成小学校の取組について



<実践の概要>

- 学校応援団等と連携し、①読書に関わる体験活動、②農業に関わる体験活動、③学習に関わる体験活動、④地域・仲間に関わる体験活動を計画的に実施している。
- 読書ボランティアによる読み聞かせや高学年児童による読み聞かせ、学校司書によるブックトーク等を通して、読書に興味を持つ児童が増え、図書館に通う児童が増えた。
- 学校農園を活用した田植え等の農業体験を通し、人との関わりや食の大切さにふれることができた。
- 多くの活動を行うにあたり、「活動あって学びなし」にならないように、意図的・計画的な体験活動を推進していく。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課

- 三郷市が「日本一の読書のまち」を掲げていることを受けて、学校のランドデザインの中にも位置づけ、読み聞かせボランティアなどの支援を受け、読書活動に取り組んでいる。
- 多様な体験活動を通して、子供たちにどのような力を身につけさせるのかを明らかにするとともに、地域と学校がねらいについても共通理解を図り、意図的・計画的に進めることが大切である。